

中央区緑の実態調査（第5回）結果

本区の緑の現況と推移を把握するとともに、今後の緑化に関する施策検討の基礎資料とするため、「中央区緑の実態調査（第4回）」（平成17年3月）の継続調査として平成29年度に実施した。

1 調査方法

本区全域を対象とした航空写真データを基に緑被地や水面等を判読し、緑被率及びみどり率を算出するとともに、現地踏査により、沿道の緑視率や建物壁面の緑化の状況等を調査した。

2 調査結果の概要

（1）緑被率

緑被率とは、樹木、草地及び屋上緑地など緑に覆われた部分の割合をいう。調査の結果、本区の緑被率は10.7%で、平成16年度調査値9.1%から1.6ポイント増加した。

（2）みどり率

みどり率とは、緑被率に水面及び公園内の緑で覆われていない面積の割合を加えた指標で、今回調査から新たに実施した。その結果、本区のみどり率は26.5%であった。

（3）緑視率

緑視率とは、人の視野に占める緑の量の割合を示し、本調査では区内の道路上の任意地点50カ所において調査を行った。その結果、平均緑視率は39.5%であった。

3 調査報告書の内容

中央区緑の実態調査（第5回）報告書（概要版）・・・別添